

第1日目 9月17日 (日) 午後

開始時刻	第 1 会 場	第 2 会 場
	シンポジウム 1 (公開)	
13:00	<p style="text-align: center;">世界地誌学習の新たな方向性 —ヨーロッパと地誌学習— 地理教育公開講座委員会主催 開始時刻 13:00</p>	<p>〈地形〉</p> <p>210 高井静霞 (日本原子力研究開発機構) ほか：上北平野での河床縦断形解析による河川侵食モデルの推定</p>
13:20	<p>S101 13:00-13:15 田部俊充 (日本女子大)：世界地誌学習の新たな方向性—ヨーロッパ地誌をどうとらえるか</p>	211 大上隆史 (産総研) ほか：熊本平野沿岸部の後氷期における相対的海水準変動への応答
13:40	<p>S102 13:15-13:30 藤塚吉浩 (大阪公立大)：ロンドン東部におけるジェントリフィケーションと地誌学習</p>	212 小元久仁夫 (元日本大)：九州および南西諸島の礫岩質ビーチロックから採取した試料の ¹⁴ C年代
14:00	<p>S103 13:30-13:45 池田真利子 (筑波大)：ドイツにおける教育の本質—グラフィティ研究の最前線—地理学の教育に芸術の実践を取り入れる</p>	213 後藤秀昭 (広島大) ほか：相模トラフ中部における軸部近傍の断層地形
14:20	<p>S104 13:45-14:00 戸井田克己 (近畿大)：世界地誌学習の現状とヨーロッパ理解の課題—学習指導要領の分析を通して</p>	214 中田 高* (広島大・名誉)・渡辺満久 (東洋大)：もんじゅ敷地内破碎帯は活断層?—敦賀半島「白木—丹生断層」の変動地形学的再検討 (予察)
14:40	<p>S105 14:00-14:15 高木 優 (神戸大学附属中等教育学校)：中学校社会科・地理総合・地理探究とヨーロッパ理解の課題</p>	215 山下日和 (名古屋大・院) ほか：2016年熊本地震の地表地震断層周辺における変形特性の予察的分析
15:00	<p>S106 14:15-14:30 山内洋美 (宮城県仙台西高)：社会系教科としての選択科目「地理探究」における地誌学習とヨーロッパ理解の課題</p>	216 八木浩司 (深田地質研) ほか：国土地理院提供のInSAR画像を活用した防災科学技術研究所・地すべり地形分布図への再活動性評価付加
	<p>[休憩] 14:30-14:40 [総合討論] 14:40-15:25</p>	
15:20	<p>S107 15:25-15:35 永田忠道 (広島大)：地理教育からみたヨーロッパ理解の課題</p>	217 原田駿介 (筑波大・院) ほか：UAV・LiDARと廃路面を用いた花崗岩斜面における土砂移動の空間分布評価
15:40	<p>S108 15:35-15:45 濱野 清 (兵庫教育大)：総括—今後の世界地誌学習の新たな方向性を考える</p> <p>15:45 おわりに・次回の予告 終了時刻 16:00</p> <p>〈地理教育〉</p>	<p>〈経済・産業〉</p> <p>218 新海拓郎 (総合研究大学院大・院)：金魚の生産活動と流通経路—奈良県大和郡山市の生産者および卸売市場の分析から</p>
16:00	119 吉田 剛 (宮城教育大)：地理教育における持続可能性とウェルビーイングの理論化	219 大西健太 (都立大・院)：地方圏におけるアニメーション制作現場の課題と展望
16:20	120 山内啓之 (立命館大) ほか：複数のデジタルメディアを用いた地形教育のオープン教材の試作	220 岩木雄大 (佐賀大・学) ほか：地域住民への意識調査を通して多文化共生を目指す地域振興を考える—福岡市吉塚市場リトルアジアマーケットを事例に
16:40	121 川久保典昭 (県立日立第一高) ほか：ICT ツールを活用した地理教材共有化のための全国的組織の形成と発展	221 上村博昭 (尚美学園大)：離島における商業環境の変化に関する一考察
17:00		

第1日目 9月17日（日） 午後

第 3 会 場	第 4 会 場	開始時刻
〈人口・行動〉	〈水文〉	
310 蔣 宏偉*・佐藤廉也（大阪大）：日本における食事摂取動機の地域差—私たちはなぜ、私たちが食べているものを食べるのか	410 大八木英夫*（南山大）・宮岡邦任（三重大）：三重県北勢地域における不圧地下水の水位変動の特性について	13:00
311 村越貴光（駒澤大・院）：大学生による東京都市区町村の名称認知と位置認知	411 宮岡邦任*（三重大）・大八木英夫（南山大）：三重県北部における近年の雨の降り方の変化と地下水涵養への影響に関する予察	13:20
312 井上 孝*（青山学院大）・井上 希（国立社会保障・人口問題研）：東京西郊の私鉄沿線における将来推計人口の時空間分析	412 小田理人*（千葉大・院）・小寺浩二（法政大）：下水処理場排水流入の停止による河川水質の変化	13:40
313 野村侑平（早稲田大・院）：JR西川口駅周辺におけるエスニック・タウンのCOVID-19による空間変容	〈気候〉	
314 宋 弘揚（梅光学院大）：労働力送り出し転換期における促進の取り組みと送り出し機関の対応と課題—中国の労働力海外送り出しプログラムを中心に	413 日下博幸（筑波大）ほか：新潟平野の降雪に対する佐渡島の影響—いわゆる「佐渡ブロック」効果	14:00
315 阿部康久*（九州大）・李 春嬌（日本IBM）：中国の出稼ぎ労働者にみる近年の出稼ぎ先の変化と将来の定住希望地域—河南省三门峡市盧氏県の農村出身者を事例として	414 須藤大晴（奈良大・学）：積雪深分布からみた北陸地方の大雪の特徴	14:20
〈海外地域研究〉	415 山本 諒*（三重大・院）・立花義裕（三重大）：豪雪地帯と非豪雪地帯における降雪量の風依存性の違い	14:40
316 魏 晶京*（大阪大・院）・許 衛東（大阪大）：「新型都市化」政策下の中国における地域間所得格差は拡大したか？縮小したか？—「全体住民の1人当たり可処分所得」による省間と省内の格差分析及び人口移動の影響について	416 浅野裕樹*（筑波大・院）・日下博幸（筑波大）：阿蘇カルデラが局地風「まつぼり風」に及ぼす影響	15:00
317 陳 乙萱（東京学芸大・院）：生態文明政策下における満州族シャーマニズムの変容	417 鈴木信康*（筑波大・院）・日下博幸（筑波大）：東海～南関東で発生する収束線の時間変化の特徴	15:20
318 雨森直也（大理大）：中国農業の変化—中国雲南省鶴慶県における「退林還耕」を例にして	418 工藤達貴*（筑波大・院）・日下博幸（筑波大）：秋田県の田沢湖周辺で吹く生保内だしの風系と吹走時の気温場	15:40
319 浅田晴久（奈良女子大）ほか：インド・パンジャブ州における野焼きの地域的特性	419 平野淳平（帝京大）ほか：青森県十三湖における江戸時代の結氷・解氷記録と歴史天候記録との比較	16:00
320 渡辺和之*（阪南大）・白坂 蕃（東京学芸大・名誉）：東ネパール・ソルクンブー郡におけるヤク・ウシ交配種の家畜交易	420 中川清隆*・渡来 靖（立正大）：都市境界層全層における水平熱拡散に関する一考察	16:20
	421 土屋日菜*（都立大・学）・松山 洋（都立大）：方向別バリオグラムを用いた線状降水帯の長軸・短軸比の抽出	16:40
		17:00

第1日目 9月17日 (日) 午後

開始時刻	第 5 会 場	第 6 会 場
13:00		
13:20		
13:40		
14:00	<p>〈政治・社会〉</p> <p>513 熊谷圭知 (お茶の水女子大・名誉) : 原風景と風土の再構築に向けて—「被災地」陸前高田の場所再構築と地理学 (1)</p>	<p>〈歴史・文化〉</p> <p>613 船溪晴香 (神戸大・院) : 開道五十年記念北海道博覧会における北海道の表象の形成と転換</p>
14:20	<p>514 関村オリエ (東京女子大) : 陸前高田における災害公営住宅居住者の新しいつながりと場所—「被災地」陸前高田の場所再構築と地理学 (2)</p>	<p>614 柚山道明 (立命館大・学) : 愛媛県の小中学校校歌に歌われた環境要素とその分布の地理的特徴</p>
14:40	<p>515 吉田容子 (奈良女子大) : 「つながり」の担い手としての若手移住者—「被災地」陸前高田の場所再構築と地理学 (3)</p>	<p>615 廣瀬俊介 (東京大・研) : 景観の価値形成と歴史認識の関係についての一考察—「造園学」の研究・実践における庭園の扱いに見られる非対称性に着目して</p>
15:00	<p>516 杉江あい* (京都市大)・山本晴奈 (中京大・非常勤) : 語れない人びとのための哀悼の場所—「被災地」陸前高田の場所再構築と地理学 (4)</p>	<p>616 池谷和信 (民族学博物館) : 写真からみた熱帯・温帯の焼畑技術と土地利用—1960~1970年代</p>
15:20	<p>517 中川紗智 (筑波大) : 動物の保護活動における参加者の意識と活動の持続性—横浜市の保護猫カフェ来店客の分析を通して</p>	<p>617 宮内洋平 (立教大) ほか : 高解像度衛星画像分析による南部アフリカ初期国家の形成過程の検討</p>
15:40	<p>518 田伏夏基 (明治大・院) : 公共施設における成人映画の上映と観客の経験—日活ロマンポルノを映し出す空間の比較検討を通じて</p>	<p>618 王 倚竹* (筑波大・院)・松井圭介 (筑波大) : 中国湄洲島における観光化に伴う祭礼の継承—媽祖生誕祭の担い手の対応に着目して</p>
16:00	<p>519 松本健佑 (大阪大・院) : 地域政党の勢力拡大とスケール戦略</p>	<p>619 高橋珠州彦 (明星大) : 埼玉県における近代の町並み景観形成と大火復興—大火記録からの検討</p>
16:20	<p>520 松宮邑子 (埼玉大) : 経済状況にみるモンゴル人留学生の日本生活</p>	<p>620 藤村健一 (福岡大) : 仁徳天皇陵古墳に対する訪問者の認識と行動</p>
16:40	<p>521 松尾卓磨 (立命館大) ほか : 盛り場のフィリピン人女性を支える自助・互助・公助</p>	<p>621 中澤高志 (明治大) : 表出する関係性と日常—大分県佐伯市船頭町・大手前地区の変容について</p>
17:00		

第2日目 9月18日(月) 午前

第 1 会 場	第 2 会 場	開始時刻
シンポジウム 2	〈観光〉	
「地理総合」とGIS教育 —教育の実践・評価および教員養成— 〔オーガナイザー〕 橋本雄一(北海道大) 〔司会〕 橋本雄一(北海道大) 開始時刻 9:00	231 黒田凌雅(熊本大・院)：アニメ聖地巡礼における交流の実態と関係人口創出の可能性—人吉球磨地域とアニメ「夏目友人帳」を事例に	9:00
	232 付 凱林(筑波大・院)：島嶼観光の成長と観光資源の形成に関する研究—中国・長島の体験型観光を例として	9:20
〔趣旨説明〕 9:00-9:05 橋本雄一(北海道大)	233 初澤敏生(福島大)：静岡県伊豆地域の温泉地におけるCovid-19の影響	9:40
S201 9:05-9:21 三橋浩志(文部科学省)：学習指導要領における「地理総合」のGIS教育	234 楊 楠(島根大・院)：都道府県によるSNS活用の地域差—中国語による情報発信	10:00
S202 9:21-9:37 大塚孝泰*・大塚 力(国土地理院)：国土地理院における「地理総合」への支援	235 原 雄一(京都先端科学大)：川と道をたどれば京都がわかるヒストリカル痕跡ツーリズム	10:20
S203 9:37-9:53 石橋 生(桐蔭学園高)：地理総合・地理探究と探究学習の相互環流	〈地域計画・地域政策〉	
S204 9:53-10:09 栗山絵理(東京学芸大学附属高)：地図とGISの学習指導におけるルーブリックと観点別評価	236 荒井良雄(帝京大)：離島におけるICTを利用した生活・産業インフラの改善の試み—山形県飛島の事例	10:40
S205 10:09-10:25 田中隆志(県立藤岡中央高)：「地理総合」における地図とGISを扱う授業と評価の進め方	237 本多広樹(山形大)：先端技術活用による中山間地域の変化—長野県伊那市の事例	11:00
S206 10:25-10:41 森 泰三(ノートルダム清心女子大)：大学の教職科目で培うGISの技能と指導法	238 佐藤 将(金沢星稜大)：保育所送迎から捉える父親の育児協力要因—東京都市圏ACTを用いた事例研究	11:20
S207 10:41-10:57 若林芳樹(都立大)：「地理総合」と地図リテラシーの向上	239 畔蒜和希(明治大・院)：東京大都市圏における保育ニーズの質的側面からの検討—保育所利用者の体験談を手がかりに	11:40
〔総合討論〕 11:00-12:00 〔コメンテータ〕 木村圭司(奈良大)・塩崎大輔(星槎道都大)		12:00
昼 休 み		

第2日目 9月18日(月) 午前

開始時刻	第 3 会 場	第 4 会 場
9:00		〈災害〉 431 松本颯人(駒澤大・院)：2019年東日本台風による福島県いわき市夏井川下流域での破堤氾濫と浸水被害の分析
9:20	〈農業・農村〉 332 加藤寛樹(中国電力)：群馬県富岡市の事例からみる産業としての蚕糸業の可能性	432 岩船昌起(鹿児島大)：令和5年6月20～21日における奄美大島南部での豪雨災害(速報)一字検村低標高3集落における浸水被害の比較考察
9:40	333 作野広和(島根大)：過疎地域のコミュニティが目指す「縮充」とその方策	433 坪井壺太郎(社会安全技術研)：佐賀県杵島郡大町町における洪水災害による重複被災と被災者支援に関する研究—令和元年8月豪雨と令和3年8月豪雨を事例として
10:00	334 久保結菜(愛媛大・学)：花卉の地域ブランド化の有用性—愛媛県産デルフィニウム「さくらひめ」に着目して	434 高田協平*(国土地理院)・黒木貴一(関西大)：段丘・丘陵の盛土地における液状化の土地条件—宮城県仙台市を事例に
10:20	335 川久保篤志(東洋大)：日本ワインブーム下の長野県における小規模ワイナリーの急増とその意義	435 松岡 農(江戸川学園取手中・高)：災害危険区域における土地利用と震災伝承活動の変容—仙台市若林区荒浜地区を事例に
10:40	336 河本大地(奈良教育大)：ルーマニアの中山間地域におけるジオパーク設立の意義と課題—ブザウの地ユネスコ世界ジオパークの事例から	436 山口泰輝(兵庫県立大・院)：時間的・空間的な視点に基づく震災・災害デジタルアーカイブの分析
11:00	337 原 裕太(東北大)ほか：五島カトリック集落における自然資源利用の空間特性と生存戦略—隣接する仏教徒集落との比較を通じて	437 宮城豊彦(地域情報カスタマイズユニット)ほか：ベトナム山岳省における地すべり早期警戒システムと地域防災のリンクによる斜面災害リスク軽減に関するJICAプロジェクト技術協力
11:20	338 穂積謙吾(早稲田大)：大分県佐伯市入津湾沿岸地域の海面魚類養殖業経営体における赤潮への対応と経営の維持	438 小森次郎*(帝京平成大)・小山拓志(大分大)：ネパール・ヒマラヤ中部マディ川源流の氷河崩壊に伴う再生氷河の形成
11:40		
12:00	昼 休 み	

第2日目 9月18日（月） 午前

第 5 会 場	第 6 会 場	開始時刻
〈都市・交通〉	〈歴史・文化〉	
531 山下博樹（鳥取大）：バンクーバー都市圏における広域計画「Metro 2050」による空間整備の新たな取り組み	631 松井恵麻（大阪市立大・院）：空き家活用としてのアートスペースと表現活動の場の生成	9:00
532 榎引素夫（青森大）：JR津軽線の試練（第2報）—沿線の地域活動を交えて	632 頼上楡*（筑波大・院）・池田真利子（筑波大）：グローバルに受容されるヒップホップ文化のローカル化の実情—台湾のラップ文化に注目して	9:20
533 上村晶太郎（佐賀大・学）ほか：「博多せんしょう」周辺の商店を対象とした聞き取り調査報告	633 Ikeda, M. (Univ. of Tsukuba) and El-Barbary, M.N.* (Researcher, Univ. of Tsukuba) : An interdisciplinary study of graffiti in global cities: Focusing on the spatial characteristics of graffiti in Hamburg and Tokyo	9:40
534 大内俊二：東京都多摩市の橋—住民視線を交えた“地誌”の試み	634 渡邊英明（関西大・非常勤）：近世武蔵国横見郡における定期市と市場網	10:00
535 松田千優（大阪公立大・院）：長期化する市街地改造事業地区の再々開発—阪急茨木市駅前を対象に	635 徳安浩明（大和大）：石見国那賀郡七条原における新田集落の形成とたたら製鉄	10:20
536 東城文柄（東京外国語大）：夜間光（VNP46A2）データを用いたCOVID-19パンデミックの社会経済的影響の地理的分析	636 渋谷鎮明（中部大）：日本に所蔵される「大東輿地図」写本の特性に関する一考察—地理情報の追加に着目して	10:40
	637 松尾容孝（専修大）：宝蔵文書と地籍図にみる十津川山村—大字武蔵を中心に	11:00
		11:20
		11:40
昼 休 み		12:00

第1・2日目 9月17・18日（日・月）

第 P1 会場	第 P2 会場
ポスター発表	
<p>ポスター発表は、9月17日（日）13時～18時までと9月18日（月）9時～13時まで、第P1会場から第P4会場で行います。発表者による説明は、9月17日（日）17時～18時もしくは9月18日（月）11時40分～12時10分の間に行われますので、多くの会員の参加を希望します。</p>	
P001 千葉晃（杉並区立東原中）：東京・練馬における2023年の桜開花日と気温との関係—老木は早めに、若木は遅めに開花するのか？	P010 山田周二（大阪教育大）：山頂からの標高差に基づく世界の山地の抽出とその険しさの評価
P002 瀬戸芳一*・高橋日出男（都立大）：夏季晴天日の関東平野における局地風系の類型と気温分布の特徴	P011 堀和明*（東北大）・田中靖（駒澤大）：縦断方向の河川の連結性と河川横断工作物
P003 大和広明（埼玉県環境科学国際センター）：埼玉県内における熱中症の救急搬送者数の地域性—気温や暑さ指数の観測データからの一考察	P012 小野映介（駒澤大）ほか：津軽平野中部における完新世の堆積環境変遷と地形変化
P004 平野勇二郎（国立環境研）ほか：衛星観測データに基づいた地表面熱収支解析手法の検証	P013 高波紳太郎（明治大）：沈澱滝の下流側に分布する段丘堆積物
P005 神品芳孝（佛教大・非常勤）：関東平野における屋敷林の防風効果	P014 幸地佑朔*（琉球大・院）・羽田麻美（琉球大）：沖縄島のコックピットにおける石灰岩タプレットの野外風化実験
P006 米島万有子（熊本大）ほか：マイクロスケールにおけるデング熱媒介蚊の生息環境とリスク評価	P015 岩佐佳哉（大分大）：新潟県村上市小岩内周辺における1967年と2022年の豪雨に伴う崩壊の分布からみた斜面崩壊の免疫性
P007 拓浩一郎（科学警察研）：分析化学・分子生物学的手法を用いた土壌資料からの土地利用の推定に関する研究（第1報）	P016 高橋尚志（東北大）ほか：2022年7月の宮城県北部における大雨に伴う大崎平野の河川氾濫とその地形学的背景
P008 細瀨有斗*（日本大・院）・森島済（日本大）：大佐渡山地北西斜面の風衝地における植生と冬季温度環境の関係	P017 吉田国光（立正大）ほか：2023年5月18日に発生した熊谷市荒川右岸河川敷における火災の記録
P009 小山拓志*（大分大）・伊南翔太（大分大・職員）：由布岳南向き斜面における木本植物の分布規定要因の検討	P018 研川英征（国土地理院）ほか：震災地応急測図原図を用いた防災地理情報の利活用に関する検討
	P019 田中耕市（青山学院大）ほか：自然災害からの住民の早期避難を促進させる要因の分析—ソーシャル・キャピタルの影響に注目して
	P020 Xue-Min Lu (National Center for Research on Earthquake Engineering) et al.: Building high accuracy Taiwan ShakeMap assessment system

第1・2日目 9月17・18日（日・月）

第 P3 会場	第 P4 会場
ポスター発表	
<p>ポスター発表は、9月17日（日）13時～18時までと9月18日（月）9時～13時まで、第P1会場から第P4会場で行います。発表者による説明は、9月17日（日）17時～18時もしくは9月18日（月）11時40分～12時10分の間に行われますので、多くの会員の参加を希望します。</p>	
<p>P021 山口太郎（神奈川大）：神奈川県箱根町における宿泊施設の立地とその変容</p> <p>P022 中岡裕章（日本大）ほか：東京圏居住者が国立公園に対して抱くイメージ</p> <p>P023 小坪将輝*（東北大・学振DC）・中谷友樹（東北大）：2010-2022年の日本における国内人口移動率の年齢プロファイル</p> <p>P024 橋爪孝介（アスノミヤ研）：図書館の規模と住民の図書館選択の関係—宇都宮市立図書館を事例に</p> <p>P025 一ノ瀬俊明（国立環境研）：田園回帰は持続可能社会のキーになりえるか—6年間のフィールドワークをもとに</p> <p>P026 岡橋秀典（広島大・名誉）：日本における地籍調査の進捗とその地域的差異に関する研究</p> <p>P027 金 曙妍（県立広島大・学）ほか：公的統計とオープンデータを利用したネットワーク分析の有用性と課題の検討—病児保育施設へのアクセシビリティ解析を事例に</p> <p>P028 増山 篤（弘前大）：多種類の都市施設に対するアクセシビリティの計測と各種社会経済変数との関係の分析—名古屋市を対象としたケーススタディ</p> <p>P029 田中雅大（東京大）：『地理学評論』の人文地理学論文における地図の使用状況</p> <p>P030 大平早紀（大分大・学）：絵図にみる近世蝦夷地像—林子平「蝦夷国全図」のGIS分析</p> <p>P031 潘 毅（筑波大・院）ほか：リモートセンシングとENVI-metを用いた都市内公園が屋外温熱に与える影響の分析</p>	<p>P032 桐村 喬*（京都産業大）・奥村 裕（皇學館中）：中学校社会科授業におけるGIS活用の事例—MeshDataView3Dを利用したメッシュマップ作成</p> <p>P033 黒田圭介（佐賀大）ほか：中学校地理における微地形判読を通じた水害ハザードマップの評価活動事例</p> <p>P034 竹川陽揮（専修大・院）：高齢者農家における貨客混載の意義—兵庫県三田市の事例を中心に</p> <p>P035 山本沙野香（専修大・院）ほか：砺波市郊外・田園地帯における飲食店の立地とその利用者特性</p> <p>P036 両角政彦（都留文科大）：農産物貿易の変化と国内産地の転換—沖永良部「ゆりの島」の選択</p> <p>P037 趙 文琪（筑波大・院）：中国・浙江省における地質文化村の内発的発展—CCDモデルを用いたその持続可能性実現要因の解明</p> <p>P038 横田潤一郎（アジア航測）ほか：赤色立体地図で確認された地形由来の地名—森林境界明確化調査における地名の活用事例の報告</p> <p>P039 小池野々香（京都大・院）：千葉県佐原の山車行事にみる運営と担い手の空間</p> <p>P040 植村円香*（秋田大）・山口沙織（JR東日本）：志波彦神社・鹽竈神社における氏子祭の変容と課題</p> <p>P041 浦山佳恵（長野県環境保全研）：日本における半自然草地史研究とその課題</p>